

## &lt;はじめに～新年＆寒中のご挨拶&gt;

ちょっと遅いですが、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。例年にない寒波が来襲していますが、ご家族の体調などいかがでしょうか？

さて、思えば昨年は大変な年でした。2011年3月11日に起きた東日本大震災、私はちょうど仕事で東京にいて、ビルの9階(事務所)で地震に遭いました。今まで経験したことのない揺れで、事務所の棚、パソコン、TVが倒れ、「もうダメか？」と真剣に思うほどでした。東京では鉄道が全てストップ。お店は全て夕方に閉まり、駅は帰れない人たちで溢れました。子供を抱えて床に座り込むお母さんたちの姿をたくさん見ました。もし、うちの家族がこんなことになったら・・・という思いが頭をよぎりました。テレビからは、被災地で住む場所をなくした人たちの姿が映し出されました。障がいを持つ人たち、その家族たちはどうしているんだろう、という気持ちで一杯でした。原発や被災自体の報道が一段落した夏ごろから、心配していた人たちの報道が徐々に増えています。PaPaだっこでも、勉強会として被災地の様子や、障がい児を持つ親として、これからどんなことをしていけばいいかなど、考える機会を持つことができました。これからも、明るく、楽しく、元気よく、そして、時には真剣に考え、悩み、少しでも今の状況を変えていけるよう、PaPaだっこの活動を通じて頑張れるといいなと思います。

～副会長 木野 謙～

## 2012年(前期)の活動報告

## &lt;活動報告(1)&gt;

## 【春の勉強会「きょうだいの会」でディスカッションを行いました】

PaPaだっこ春の勉強企画「きょうだいの本音」と題してきょうだいに障がいのある人の感情やおかれる環境を学びました。講師には、「きょうだいの会 愛知支部」の方々をお招きし、5名の実体験に基づいたお話を聞くことができました。

親は、障がいを持つ子にかかりきりになってしまいがち。きょうだいは子供ながらに、そんな親の苦勞をちゃんと見ていて、すごく気を使っていたり、自分は何ができるんだろうかと悩んでいたりするそうです。親として、きょうだいの子には、「いつもごめんね」と言わず、「ありがとう、大好きだよ」と声をかけてあげてほしい。また、きょうだいの子のネガティブな発言を、怒ったりするのではなく、「言ってくれてありがとう」と言ってあげてほしい。というご意見が印象的でした。また、一人や、家族内だけで悩まず、同じ悩みを持つ仲間と共有したり、趣味や、友達を作って積極的に外に出ることが、問題を大きくしないことに繋がるのではないかという意見も多かったです。



きょうだいの会の皆さんと記念撮影

## &lt;活動報告(2)&gt;

## 【平成23年度総会を開催しました】

平成23年度PaPaだっこ総会を開催しました。総会には21名が参加し、今年度の活動計画等の議案が審議され、承認いただきました。

合わせて行われた講演会では、名古屋市障害者雇用支援センターの角谷氏をお招きし、「自立生活へ向けての家族の役割」と題し、障がい者の就職支援の現状と、就職支援に携わる立場から、私達家族、保護者が、就職、自立を見据えてまだ子供が小さいうちから、どう接し、どう育てたらよいかのアドバイスをいただきました。

その後懇親会には16名のPaPaが参加。おいしい酒を飲みながら、楽しく情報交換ができました。



縁談で説明する北原会長

## &lt;活動報告(3)&gt;

## 【自然災害時の対応について勉強会を行いました】

7月に、半田社会福祉センターの加藤さんをお招きし、災害時の障がい児を持つ家族の対応について、勉強会を行いました。実際に東北地方へ足を運び、ご自分の目で現場をご覧になった加藤さんのお話を聞き、改めて災害の重大さを認識すると共に、そこで障がいを持つ皆さん、子供たち、その家族がどのような境遇にあるのか、このような境遇におかれた場合、家族として何ができるのか、などを考え、意見交換を行いました。

参加された方の中には、地域で開催される生活弱者の避難訓練に参加された方もいらっしゃり、その方のご意見を伺うなど、活発な議論が行えたかなと思います。

今回は半田市での状況をうかがいましたが、今後は知多半島の他の地域での開催も検討したいと思います。

## 2012年(前期)の活動報告 (つづき)

### <活動報告(4)>

#### 【とよいちで海水浴！】

PaPaだっこ夏のイベント企画として、「とよいち」さんと海水浴を楽しみました。当日は8家族の参加があり、海水浴で楽しい時間を過ごしました。

お昼には、お父さんたちによる焼そば+BBQを行い、お父さんたちは、汗をかきかき、焼そばを焼いていましたよ！

とよいちさんには、こどもたちが楽しく遊べる遊具や、何かあった時に一人になれるような個室もあり、障がいを持つ子供たちが安心して過ごせる、そんな空間です。スタッフ(とよいちの娘さんはじめ)の皆さんも、とても親切で素敵な時間を過ごせます。本当にお奨めですよ！！



とよいちさんの内部



当日はいい天気でした

### <活動報告(5)>

#### 【プロジェクトPaPa～映画館を貸切せよ！】

自分が父親になったら、我が子とこんな遊びをしたい、あんな所に行きたい、一緒にこんなことしたい。そう思い愛する人と語り合ったことがあるだろう。時がたち父親となり夢を実現しようとする。時代はノーマライゼーションという言葉も浸透し始め、様々な施設で理解が深まっている。しかしそれは、長く行列に並べなかつたり、言葉が止まらない我が子の現実に直面する時であり、多動ゆえの子供の行動をいぶかる世間の目との対面でもあった。ああ、我が子に自分が父親に教えてもらった経験を繋げていくことは難しいのか。

知多市のとあるカラオケ喫茶の2階におじさん達が集まっている。子供が同じ療育園に通園していた父親達である。ほんの数回の父親学級や園のお祭りの出し物を通じて子供達以上に仲良くなったパパ達である。子供達は卒園して半田養護学校、安城養護学校、小学校と進路は別れたけれど男達の友情に変わりりはなかった。この会合は回数を重ねいつしか会としてたちあがり、一緒に講師を呼んで勉強したり、海水浴に行ったり、クリスマス会をしたりして楽しくつきあっているうちに1年以上が経過していった。

そんな中で重度の自閉症児の父親から発言があった。「今年はカーズⅡが上映される、カーズⅠの時にテレビコマーシャルをとても喜んでいたので映画館に連れてってあげたかったけど、やっぱり周りに悪いのでDVDの販売を待った。でも、今の俺には仲間がいる。カーズなら親も子も楽しめる映画だ。子供達に大スクリーンの感動を味あわせてあげたい。みんなで映画館を貸切にして観に行こうぜ。」話を聞いたパパ達は驚愕はしたがやはり猛き心は共通であった。そして無謀とも思われる「プロジェクトPaPa「映画館を貸切せよ」」は発進することになった。幸いすぐにユニテッドシネマ阿久比様より快い返事がいただけることになった。上映日時は決まった。父親達は動いた。映画館との打ち合わせ、養護学校や支援施設などへの協力の呼びかけ、集まってポスターを作った。振込先金融機関との交渉、父親達の熱き心に世間は巻き込まれていった。そして毎日のように参加申し込みは続いた。「すばらしい企画ありがとうございます。」の添え書きに胸が熱くなる。平成23年8月18日の木曜日の21時のユニテッドシネマ阿久比7番シアターのエントランスは笑顔が溢れていた。大きなスクリーンで活躍したマックウィーンやメーターに子供達は喜んでくれたようだ。もちろん上映中は元気な声や駆け足絶えなかつたし、最後まで観れなかつた家族もいた。でもみんな幸せな帰途風景だった。



## 会員のお父さんの情報ページ …今後も皆さんからのご意見・情報・コラムなどを掲載します！

### ■おすすめテーマパーク「ユニバーサルスタジオJAPAN」

テーマパーク家族旅行の一番の目玉はやはりディズニーランドですね。障がい者への受け入れ体制もさすが天下のディズニーといった感じです。人気アトラクションで行列待ちでも障がい者用ファストパスがあれば待ち時間を短縮でき、かつ行列に並ばなくてもその時間後に優先して入場できるシステムはみなさん御存じかと…。

しかし、ユニバーサルスタジオジャパン(USJ)の障がい者用ファストパスは、どのタイミングでも人気アトラクションへ優先して入場できます。同伴者人数制限もありません。一昨年私も午後から約半日で人気アトラクションのほとんどを楽しんできました。

ご家族の旅行にディズニーもいいですけどUSJもいかがでしょうか。

### ■地元和太鼓サークルでがんばってます！

『うちの娘は、地元知多市の和太鼓グループに所属しています。未就学児、小、中、高、大人まで幅広い年齢層で構成されたグループで、うちの娘の存在はいつも皆さんに気にかけてもらっているみたい。月二回のお稽古には、いつもママが付いて行っているのもママにも感謝。たまにパパがついて行くと、一緒に叩きたくってしまうので、ガマンガマン。和太鼓は腰を落として構えたり、力強く撥を打ったり、体力作りにも効果的なのです。これからも和太鼓を通じて、いい人間関係と、健康な体を身につけてほしいです。』



### ■おすすめの歯医者さん

障がい児を持つ親にとって、「歯科医選び」はとっても大事だと思います。多動だったり、触覚過敏だったり、なかなか上手く診察・治療を受けることができないことが多いです。東浦町にある「平林歯科医院」は、自閉症などの障がいを持つ子供にとっても優しい歯科医院です。小さいうちから、「遊び感覚」で通院し、歯医者さんが怖くならないように、「慣らして」くれます。歯科衛生士のお姉さんたちも、とても良い方たちばかりです。虫歯になる前に、是非行かれてみてはどうでしょうか？

### ■編集より

「PaPaだっこ」会報の編集を通じて、たくさんイベントを実施して来ていることを改めて実感しています。企画スタッフはいつも真剣に考えながら企画立案、実行を進めていますが、参加していただける皆さんの笑顔を見たいと思って頑張っています。これからも積極的にイベントにご参加くださいね！

【入会・退会】のお問い合わせはこちら！

北原賢一 090-1560-9017

[gidrah@docomo.ne.jp](mailto:gidrah@docomo.ne.jp)